

昭和十五年四月

阪神國道なかりせば



内務省大阪土木出張所

D1  
M  
349

登 録	昭和 63 年 5 月 30 日
番 号	第 34998 号
社 団 法 人	土 木 学 会
附 属	土 木 図 書 館

# 目次

第一章	緒言	一頁
第二章	阪神國道に於ける交通量の問題	五
第一節	舊國道の許容交通量と新舊兩國道の交通量比較	五
第二節	新國道に於ける交通量の消長	二〇
第三節	新國道の許容交通量	二四
第三章	阪神國道の運輸効果	三一
第一節	ガソリン消費量より見たる効果	三一
第二節	特殊利用効果	三五
第三節	昭和十三年に於ける阪神地方大水害と阪神國道	三七
第四章	阪神國道効果の經濟的觀察	四五
第一節	運輸費節減による利益	四五
第二節	ガソリン消費節減による利益	五〇

第三節	通過時間節減による利益	五三
第四節	地價騰貴による利益	五四
第五節	總括	五六
第五章	阪神地方經濟情勢	六〇
第一節	一般地方情勢	六〇
第二節	阪神地方産業の展望	六九
第六章	結言	七九